

学 会 記 事

◎常議員会(昭.33.3.31)出席者:内海会長,米田,篠原両副会長,浅野,小池,河野,竹内,三浦,樋浦,永井の各常議員,計10名。那波,真田,岡田,平山の各前会長,小野名誉員,東,飯吉,逸見の各理事。委任状26通(粟津,垣本,五味,小村,佐藤,林,有江,伊福部,高木,中村,平井,牧野,足立,井上,上野,川村,橋本,堀場,稲垣,小田,米谷,佐々木,庄司,西村,江里口,山崎)。議事:1) 准員制廃止にともなう定款改正を総会に提案すること,およびそれにともなう規則の改正案を承認。2) 昭和33年度事業計画を東総務部長説明の上承認。

本部事業計画

4月 関東地区常議員半数改選,5月 水理講演会,常議員会,通常総会,第13回年次学術講演会,見学会(東京),8月 夏季講習会(新材料・新工法),9月 橋梁構造工学研究発表会,第8回応用力学連合講演会,第2回地震工学研究発表会,10月 第2回材料試験連合講演会(京都),11月 秋のエキスカッション,海岸工学講演会,3月 常議員会,その他随時講演会,映画会を開催のこと。

各種委員会

- 会誌編集委員会(毎月1回)
- 会誌編集小委員会(毎月1回)
- 会誌抄録委員会(毎月1回)
- 論文集編集委員会(隔月各部会および部長会)
- 水理委員会:研究講演会,年報および論文集の編集
- コンクリート示方書改訂委員会 } コンクリート示方書解説の審議
- コンクリート示方書解説委員会 }
- プレストレストコンクリート委員会:一応指針を発刊したが,なお暫置して研究を進めること
- 土木工学そ書委員会:そ書の企画
- 製図規格委員会:各部門の基準を研究中
- 海外連絡委員会:国際会議との連絡
- 橋梁構造委員会:JSC 国内連絡委員会の分科会として毎年研究発表会を開催
- 土木賞委員会:土木賞のせん銜
- 海岸工学委員会:研究,講演会
- 海岸保全施設小委員会:海岸保全施設の設計基準の制定
- 波力小委員会:波力に関する実験研究
- 耐震工学委員会:耐震構造の研究,第2回耐震工学研究発表会,第2回国際地震工学会議の準備
- 大正以降土木史編集委員会:各委員執筆中
- 土木用語常議事典委員会:用語選定中
- 土木振興対策委員会:土木技術の振興策
- 土木設計監理小委員会:土木設計監理基準の審議
- 原子力土木技術委員会:原子力に関する土木技術の研究
- フライアッシュ小委員会:フライアッシュの研究
- コンクリート鉄道構造物委員会:国鉄委託によるコンクリート構造物の研究
- 高張力鋼鉄道橋研究委員会:高張力鋼鉄道橋設計示方書の研究
- 土木会館用地委員会:用地取得に努力中
- 定款改正特別委員会:定款全面的改正に関し研究起案

3) 昭和33年度収支予算を飯吉経理部長説明の上承認。

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
I 会費	16 571 000	I 事務費	7 260 000
II 政府補助金	100 000	II 会費	330 000
III 諸刊行物収入	7 213 000	III 負担金	140 000
IV 雑収入	2 520 000	IV 支那交付金	1 500 000
		V 事業費	16 654 000
		VI 施設管理費	100 000
		VII 引当金	300 000
		VIII 予備費	120 000
合計	26 404 000	合計	26 404 000

4) 高坂理事の後任として国鉄建設局計画課長 渡辺寅雄君を選任。5) 定款改正特別委員会を設置することを承認。報告事項:1) 昭和32年度土木賞受賞者決定について,2) 学会の現況,3) その他。

◎第10回理事会(昭.33.3.20)出席者:内海会長,米田,篠原両副会長,東,中安,飯吉,国分,丸安,米屋,野田,逸見の各理事。議事:1) 2月中の行事その他報告,2) 昭和33年度事業計画について,3) 昭和33年度収支予算について,4) 地方委員に交通費の一部支給内規の制定について,5) 准員制廃止に關し土木振興対策委員会の答申,准員に対するアンケートの結果にもとづいて定款,規則の改正案を常議員会に諮議することについて,6) 定款改正特別委員会設置について,7) 高坂理事の後任に渡辺寅雄君を常議員会に推挙について,8) 夏季講習会「新材料と新工法」の課題および講師について,9) 常議員会開催日について,10) 関東地区常議員半数改選について,11) 総会および年次講演会次第について,12) 第2回材料試験連合講演会運営委員会に委員推薦について,13) 中部支部長に中島 武君,西部支部長に渡辺寛治君を委嘱について,14) 2月中の会員入退会承認。

◎各種委員会

1. 第10回会誌編集委員会(昭.33.3.24) 糸川,丸安正副委員長,森,尾形,栗栖(代),奥田(代吉岡),大野(代佐藤),三上(代米沢),安藤(代),南各委員,深谷幹事。協議事項:1) 投稿原稿審査報告,2) 原稿依頼状況,3) 依頼原稿の件,4) その他,5) 43巻5月号誌登載原稿を次のとおり予定した。

末松 栄:欧米を視察して,小沢久太郎:東南アジアを巡りて,石原隆次郎:米国の工業教育について,岡部三郎:北海道連絡問題と港湾,松原賢太郎:欧州における鉄道の保線,坂口麗紀夫:鉱山における廃液かん止堤について。

2. 第10回会誌編集小委員会(昭.33.3.5)出席者:糸川委員長,久保,奥田(代吉岡)両委員,深谷幹事。議事:43巻4月号誌編集について最終審議を行った。

3. 第10回会誌抄録委員会(昭.33.3.4)出席者:八十島委員長,伊能,堀井,佐藤,垣中,高秀,矢島(代千秋),高橋,松本,渡部の各委員。議事:1) 43巻第4号登載抄録決定。2) 抄録と文献紹介のページ数割当増加について。3) 松本嘉司委員渡仏のため辞任,後任に野口 功君を推すこと。

4. 第2回土木賞委員会(昭.33.3.6)出席者:青木委員長,伊藤,岩井(代広田),太田尾,小野(堤),佐藤,平井,星埜,松井,米屋,原田,大崎,内林,渡辺,篠原,国分,糸川,友永の各委員。議事:1) 第1回委員会議事録を検討し,第1回委員会における決議事項を再確認した。2) 第3回委員会は3月25日(火)開催と定めた。3) 土木賞候補論文学会賞4編,奨励賞7編の推薦理由を糸川,友永の両委員より説明した後,各編に關

してそれぞれ討議した。第1回委員会の決議により説明補助員として後藤、山田、佐藤、春日屋の編集委員が出席し、各委員からの質問に答えた。4) 各委員は推薦された論文のうちから、優秀と思われる論文を学会賞2編以下、奨励賞2編以下を選定し3月25日までに学会へ必着するよう投票することに定めた。投票用紙は第2回委員会議事録とともに、後日、各委員へ送付する。5) 授賞論文の編数は、投票の結果から第3回委員会において決定する。第3回土木賞委員会(昭.33.3.25)出席者：青木委員長、東、伊藤、太田尾、神谷、小野木、小西、種谷、星埜、松井、米屋、原田、大崎、内林、国分、糸川、友永の各委員。議事：1) 第2回委員会議事録を検討し、その決議事項を再確認した。2) 各委員からの投票26通を開票の結果、授賞者を次のとおり決定し、理事会および常議員会に報告することとした。

学会賞：上水道配水管路の設計上の諸問題

正員 扇田彦一 君

奨励賞：アーチダムに働く地震時動水圧
 アーチダムに働く動水圧の模型実験
 不規則な地震動による動水圧
 動水圧の減衰作用がダムの耐震性によぼす影響について

准員 小坪清真 君

河床における砂礫堆の形成について

一蛇行実態の一考察一

正員 木下良作 君

5. 第66回コンクリート鉄道構造物委員会(昭.33.3.7)出席者：吉田委員長、岡本、国分、平井、友永の各委員、三浦、天野、牧野(代尾崎)、佐藤、白石、川口、深谷、小寺の各幹事。議事：ラーメンの隅角部における設計ラーメンにおけるKS荷重の等値等分布荷重を審議し、第1節ラーメンの第2読会終了。第67回同委員会(昭.33.3.27)出席者：吉田委員長、国分、最上の両委員、尾崎、白石、高橋、野口、堀口、牧野、川口、深谷、小寺の各幹事。議事：5章 基礎工、6章 橋台および橋脚、7章 ラーメンおよびアーチ、8章 擁壁、を審議してそれぞれ結論を得た。

6. 第5回論文集編集各部会(昭.33.3.10)出席者：第1部会—安浪、大地、奥村、山口の各委員。第2部会—岡田、松田、千秋、嶋の各委員。第3部会—佐藤、三木、市原の各委員。第4部会—友永、黒河内、春日屋、及川の各委員。議事：各部会で原稿の審査報告および審査委員の決定。

7. 第5回論文集編集各部会長会(昭.33.3.17)出席者：友永委員長、佐藤、山田両部会長、山口、嶋、市原、春日屋、徳平の各幹事。議事：1) 各部会報告。2) 論文集56号登載原稿を次のとおり予定した。

流出関数による由良川洪水の解析(石原藤次郎、高瀬信忠)
 土のシントロビーと路床支持力(森 麟)
 流量算定式の精度と測定方式の提唱(春日屋伸昌)

振動切削について(村山朔郎、島 昭次郎、齋藤 実)

ボーリング孔を利用せる非定常流透水路試験について(小田英一)

傾斜面上汚濁の2軸および3軸自重圧密の実験的考察(川島 晋)

部分的に固定された辺を有する単純支持矩形板の曲げについて(倉田

宗章、波多野昭吾)

非静定構造物の弾性重心の拡張の定義について(島田静雄)

On the Distribution of Suspended Sediment in Natural

Rivers(田中 茂、杉本修一)

3) 著者単独論文集の取扱い方について。

8. 第16回土木設計監理小委員会(昭.33.3.14)出席者：平山振興対策委員長、比企委員長、加納、仁杉(代高橋)、久保、増山、塘、八十島、秋山(代近藤)、吉田(良)、鳥居の各委員。磯部幹事。議事：第1編設計および監理業務の第2条(定義)ならびに第8条(原第9条)までの訂正分を再読。2) 第1編第9条(原第10条)以下第19条までを審議。第17回同委員会(昭.33.3.15)出席者：平山振興対策委員長。比企委員長、加納、田中、仁杉(代高橋)、久保、増山、塘、八十島、吉田(良)の各委員、磯部幹事。議事：1) 第1編第20条(原第21条)以下全部。2) 第2編を“技術士の委嘱”と改め第27条まで全部。3) 第2編付則を“第3章関連業務”と改める。4) 本日をもつて一応第2読会を終り原案を整理して本委員会に報告する。解説は比企委員長、磯部幹事によつて起草する。5) 加納委員提案の第1編設計および監理業務に追加の“工事管理(施工業務)”は土木設計および監理業務基準とは性質が異なるから保留する。

9. 第8回応力連合講演会運営委員会(昭.33.3.18)出席者：(土木)奥村、最上、米屋、(物理)阿阪、今井、近藤、谷の各委員。(JSC)佐々木事務官。議事：1) 日程：昭.33.9.6~8。2) 会場：東大工学部2号館。3) 講演募集要項の各事項を審議決定。4) 特別講演はアメリカMACA研究所に交渉して講演を依頼し、ほかに土木関係1題、物理関係1題を計画する。5) 映画会、見学会は特別講演各分科講演数の状況によつて考える。6) 懇親会は計画する。7) 4月8日職員打合せ。8) 第2回運営委員会はアメリカからの返事あり次第開催する。

10. 高張力鋼鉄道橋研究委員会(昭.33.3.27)出席者：田中委員長、青木、小西、成瀬、福田、奥村、友永、田原、多田、田中(五)、中根の各委員。西村、田島、阿部、大宮、安浪、安藤、伊藤、白石の各幹事。議事：総則、材料、許容応力、許容応力の割増、橋台橋脚に関し検討を終り本年度の報告をまとめた。

支 部 だ よ り

東北支部 技術研究発表会(昭.33.3.6)聴講者120余名で非常に盛況であつた。研究発表題目および発表者は次のとおり。

1. 温度勾配による土中水分の移動(東北大・阿部泰夫、伊藤義孝)
2. プレストレスを加えた剪断面3径間連続桁の径間割(東北大・加藤輝夫)
3. コンクリート舗装目地材(防衛庁・葛西茂雄)
4. 磐城街道跨線道路橋構架架設工事(郡山保線区・浅田道正)

5. 塩釜港1万t岸壁上部工設計(第2港建・青山正幸)
6. 鴨子ダムの構造作用の実測および観測(鴨子ダム・金子 晃)
7. 河川蛇行および河川流速分布の一考察(山形県・伊藤秀夫)
8. 鉄道路盤の調査(国鉄・桜井芳男)
9. 低落差発電所(東北電力・高畑克巳)
10. 貞山運河の水理(宮城県・高橋準一)
11. 広瀬橋(宮城県・佐々木正栄)
12. 寒風沢吊橋(鴨子ダム・千葉喜味夫)

中部支部 第9回幹事会(昭.32.12.10)出席者:幹事長外 21名。報告:1)土木賞委員について、2)第4回海岸工学講演会。協議事項:1)1月行事について、2)2月行事について、3)講習会日程について。**第10回幹事会**(昭.33.1.14)出席者:幹事長外 22名。報告:1)1)1月行事、2)3月行事。協議事項:1)2月行事、2)次期支部長推薦について。**役員会**(昭.32.12.10)出席者:石田支部長外 38名。**学生見学会**(昭.32.12.7~8)岐阜県大野郡白川村御母衣ダム工事現場。参加者 25名。**講演会**(昭.33.1.28)題目および講演者次のとおり。

欧米の土質事情(スライド併用) 京大助教授 松尾新一郎
世界主要都市の交通事情(スライド併用) 大阪市交通局 田中 幸二

役員異動 1) 新任評議員 長野県土木部長 穂積健茂、同幹事 石川県土木部計画課長 越田嘉一。2) 退任幹事 石川県土木部河港砂防課長 由良 勇。**第11回幹事会**(昭.33.2.12)出席者:21名。議事:報告事項 a) 1月行事について、b) 2月行事について、c) 後期普通交付金について。協議事項 a) 昭和 33 年度行事予定について、b) 昭和 33 年度予算について。c) その他の事項。**役員会**(昭.33.3.4)出席者:石田支部長外 32名。議事:次期支部長に建設省中部地方建設局長 中島 武氏を推薦し満場一致決定した。**見学会**(昭.33.2.22)愛知用水公団曲池ダム工事現場、参加者約 180名。**講習会**(昭.33.3.24~25)場所:名交会館。聴講者 150名。講師および題目:

港湾防災	運輸省港湾局長	天 莖 良 吉
都市防災	東京消防庁予防部調査課	塚 本 孝 一
気象災害	名古屋気象台予報課長	添 田 春 雄
鉄道防災	国鉄札幌工事局長	坂 本 貞 雄
特別講演	名古屋市助役	田 淵 寿 郎

支部所在地移動 名古屋市昭和区狭間町 30 建設省中部地方建設局計画検査課内(電 名古屋(73) 2561~2566 内線 44)

役員の異動

(1) 新任

評議員 国鉄 岐阜工事局長 小田 仁
幹事 静岡県土木部河港課 木戸 鎮 朔
" 名古屋鉄道KK土木部次長 榎 修 仁

(2) 辞任

評議員 吉田朝次郎、高橋与三郎
幹事 早川増一郎、菱田英三

関西支部 「最近の海外土木技術」講習会(昭.33.3.27~28, 大阪中之島中央公会堂)聴講者 378名(関西支部管外 20 県より 61名)講習題目および講師は土木学会

誌第 43 巻第 1号で予告したとおりであつて非常に盛況のうちに終了した。

西部支部 総会(昭.33.3.7) 14 時から開催に先立ち次の記念講演を行い、引続き総会に入り事業報告、会計報告、支部長常議員の改選を行った。

記念講演:1) 道路雑感

日本道路公団総裁 岸 道三

2) 道路雑話

福岡県土木部長 兼 重 信 雄

新支部長:九大教授 渡辺 寛 治

新地区常議員:吉川吉三、篠原 謹 爾、野田勝美

留任常議員:坂田 静 雄、田 賀 秀 和、江里口正夫

商 議 員:田代 信 雄、兼 重 信 雄、佐藤康治

鷲崎 文 雄、齋藤 隆 一、上野省二

河 村 茂、松尾 博 茂、長谷川正勝

藤 芳 義 男、川上 謙 太郎、蓮尾 誌 藏

田 中 敬 親、西 松 康 友、江口辰五郎

田 中 武 夫、東 条 哲 夫、兼 重 讓

上ノ土 実、田 中 寛 二

幹 事 長:小松 雅 彦

幹 事:立部 平 助、日向野良世、直村 徳 三

山内 豊 聰、横田 光 彦、有田 進

古 賀 公 平、小金丸義雄

関係学協会その他

日本学術会議 a) 研究費委員会小池委員長から昭和 33 年度文部省科学研究費等分科審議会委員(土木工學部門)を次のとおり文部省に推薦したとの通知に接した。

(3月4日付) 留任委員 東大教授 平井 敦、新任委員 阪大教授 田中 清。**b)** 第26回総会を4月16日~18日に開催するから各位の傍聴を希望するとの案内に接した。**c)** 熔接研究連絡委員会と熔接学会と共催で第3回熔接シンポジウムが3月24日国立科学博物館において開催された。

国際大ダム会議日本国内委員会 3月10日 国際大ダム会議前総裁コイン氏の講演会を開催し、終つてカクテル パーティーを催した。

国際技術協力会 3月18日 創立総会を催した。

東京建設業協会 3月27日 75 周年記念祝賀会を椿山荘において開催した。

発電水力協会 3月27日 東京建設会館大会議室において講演会開催、演題「東南アジア電源開発について」日本工営KK社長 久保田 豊氏。

土木工學 論文抄録 第3集 特価:250円 (〒70円)

" 第4集 特価:225円 (〒70円)

" 第5集 特価:800円 (〒80円)

名古屋市地下鉄道第2期線工事着手

32年11月15日名古屋駅一栄町間第1期工事完了開業後、引続いて栄町-池下間3440mの第2期線の工事準備中のところ、諸般の準備も完了して、33年2月28日工事着手となった。本区間には国鉄中央線と千種駅で立体交差するほか、終点池下駅に地下鉄道用車庫を建設する予定となつている。

姫路市にロープウェイ開通

姫路市の近郊の書写山(標高362m)に3月19日ロープウェイが開通した。このロープウェイは三線交走式索道であつて、延長は757m、搬器の乗車人員は31人、速度は3.6m/secである。

コンクリートパンフレット

各号共 A・5判 1部 60円 十 10円
他号は省略、御一報次第図書目録進呈
全国丸善書店などでも販売中

15号 **コンクリート道路** (改訂版)
100ページ

日本道路公団 橋井常忠氏執筆
名神高速道路愛岐建設所

昭和31年に改訂になつた土木学会のコンクリート舗装標準示方書および日本道路協会のセメントコンクリート舗装要綱に基づき初版を全面的に改訂増補したものでコンクリート舗装全般にわたり技術者向にわかりやすく説明してある。

54号 **コンクリート工作** 96ページ

京都大学教技 工博 近藤泰夫氏執筆

中学・高校用の教材としては勿論、簡易なコンクリートの工事や工作物を造る上に好適

近刊 **コンクリートクイ** 約70ページ

56号 設 計・製 作・打 込

大同コンクリート工業K.K. 綾 亀一氏訳

月刊
セメントコンクリート No. 129

コンクリート骨材特集

B・5版 166ページ

1部 150円 十 20円

各地方に生産される骨材分布と品質を始め
その他骨材のあらゆる問題を集大成した決定版。

東京都港区赤坂台町1番地の2
社団法人 **日本セメント技術協会**
振替 東京 196803 電話 (48) 8541~3

会 員 現 在 数 (昭.33.3.31 現在)

名誉員	賛助員	特1級A	B	C	特2級	特3級	正員	准員	学生員	合計	減少
22	30	15	11	71	112	91	7328	5536	865	14081	26

昭和33年3月分入退会報告 (昭.33.3.1~3.31)

1. 入 会 44名 (正23, 准14, 学生7) 2. 退 会 70名 (正21, 准29, 学生19, 特3級1)
3. 転 格 380名 (准より正へ1, 学生より准へ379)

正 員	小 川 清 君	埼玉県北埼玉郡忍町	逝去
"	山 田 博 愛 君	中野区新井町 471	"
"	宮 崎 孝 介 君	前島根県土木部砂防課長	"
准 員	岩 根 孝 夫 君	岡山県英田郡作東町江見 250	昭和33年3月19日逝去 享年23才

昭和33年4月10日印刷
印刷者 大沼正吉
編集兼発行者 中川一美
定 価 100円

昭和33年4月15日発行
印刷所 株式会社 技 報 堂
発行所 社団法人 土 木 学 会
振替 東京 16828 番

土木学会誌 第43巻 第4号
東京都港区赤坂溜池5番地
東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)
電話 (35) 5130・5138・5139 番